

# 大正地区センターまつりを終えて

令和元年12月9日

今年も、大正地区センターまつりに多数ご来場いただき有難うございました。初日、雪が混じった冷たい雨が降る中、大正連合町会自治会会長かつ当地区センター運営委員長の福井さんの開会宣言でセンターまつりが始まりました。司会は、青少年指導員の「ダブル聡さん」（渋谷聡さん、羽太聡さん）です。大正地区センターまつりは、まつりに向けて1年間準備をすすめてきたサークルの皆さんは勿論ですが、地域の団体や多くのボランティアの皆さまの協力無しには開催できません。本当にありがとうございます。

12月7日（土）

舞台部門のスタートは大正小学校の和太鼓演奏。和太鼓の重低音が凜とした館内に響き渡りました。山崎校長先生のお話では、和太鼓クラブの生徒さんは休み時間も惜しんで練習に励んでいるとのことでした。和太鼓の発する重低音から大きな感動を受けました。プログラムが予定通り進行するにつれて、「大正地区には芸達者な人が多いね」という声が聞こえてきました。1年間の練習の成果が観客の皆さんにも伝わったようです。

展示は、活動休止のサークルが増えて、展示数が減ったのは残念でした。活動を再開して、また展示に戻って来るのを待っています。小雀小、大正小、深谷小、横浜深谷台小、大正中、深谷中の皆さんの作品展示には、多くの方が家族ぐるみで作品を見に来られていました。

特別企画の中山紀子さんとバドミントンの歩みコーナーには、ミュンヘンオリンピック（公開競技）の金メダルや多くの記念品が展示されていました。聡明期から2020オリンピックまで、日本バドミントン界に貢献されてきた中山先生の歩みを知ることができました。

寒い中、外では青少年指導員さんによるたい焼き販売、近隣の農家さんによる野菜販売、館内ではぶどうの木さん、おべんとう箱さんによるお弁当、パン、お菓子などが販売されていました。今年もまつりを支援していただきありがとうございました。



福井会長の開会宣言



軽妙な司会、渋谷さん、羽太さん

大正地区センターまつりを終えて（２）



大正小、和太鼓演奏



けん玉教室（球翔）



学校作品展示



作品展示



健康コーナー（医療生協原宿支部）



作品展示



中山紀子さんとバドミントンの歩み



野菜販売



### 大正地区センターまつりを終えて（3）

12月8日（日）

昨日とは打って変わって快晴、早朝、7時からスポーツ推進委員さんによる餅つきの準備が始まりました。快晴とは言え、やはり外は寒いです。青少年指導員さんによるたい焼き、男のグルメの会さんによる焼きそば、フランクフルト調理の準備も順調です。

今日の舞台は大正中学校の吹奏楽演奏で開始する予定でしたが、生徒さんがインフルエンザに罹ったり、体調不良の生徒さんも出て、少ない人数では皆さんに満足していただける演奏ができないとのことなので今回は出演を辞退されました。

その代替というわけではありませんが、急遽、4番目に出演予定のジャージーノイズバンドさんに繰り上げて演奏をお願いしました。TVでよく耳にする聴きなれたジャズの演奏会となりました。観客からは、「ブラボー」、「やはり生演奏は違うね」、という感想も。帰り際に、今日は、ジャズバンド、ダンス、日本舞踊、安来節、盆踊り、フラダンス、フラメンコ、マジック、詩吟、カラオケなど、色々な出し物があって本当に楽しめましたと声をかけられました。ここ数日では珍しい小春日和のような日でしたが、ここで楽しく一日を過ごしていただけたようで、本当に良かったです。

今日のお昼は、ふらっとステーションさんのキーマカレー、お汁粉、珈琲、男のグルメの会さんによる焼きそば、フランクフルトでした。お昼時には、1階ロビー、2階ロビー、プレイルームは満席で、空きを待っている方もいて混雑していました。すいませんとすると、待っているから大丈夫だよ、と優しい声をかけていただき、ここでも皆さんにまつり運営に協力していただきました。焼きそば、たい焼きは早々に売り切れて大人気でした。

予定通り、午後3時、渋谷さん、羽太さんの「また来年、ここで会いましょう」の誓いの言葉で令和初めの大正地区センターまつりを無事終えました。



早朝から餅つき（スポーツ推進員）



たい焼き販売（青少年指導員）

大正地区センターまつりを終えて（４）



ジャージーノイズバンド演奏



観客と一緒に踊りの輪



満員の体育室



コミカルな舞台も



最後は優雅にフラメンコ



お昼時の2階ロビーは混雑



似顔絵コーナー



似顔絵コーナーの作品（誰かな）